

●教員養成の目標

〔子ども学研究科〕

《2024 年度入学生から》

大学院子ども学研究科修士課程では、子ども学ならびにその隣接諸科学を横断的に学ぶことで、子どもをめぐる諸課題に対して多角的にアプローチすることのできる人材を育成する。理論と実践を不断に往還しながら、実践を理論的に把握する力を養うとともに、子ども学の理論的成果を実践へと還元できる力を涵養する。この基本方針に基づき、子ども学に関わる専門性と実践的指導力を兼ね備えた研究的実践者、実践的研究者の養成を目標とし、幼児教育・初等教育の領域で活躍できる人材の輩出を目指す。

《2023 年度以前入学生》

大学院子ども学研究科では、「子ども学」を多面的なアプローチで追究し、より専門的に探求することで、実践を客観的に把握できる実践者と、実践を理論的に理解した研究者を育成することを目指す。さらに、理論と実践を高次元で統合できる力の養成をはかり、学際的視点や公益の精神を学び、研究者・実践者としての幅をさらに広げ、高度な専門性を備えた子ども学の研究的実践者、実践的研究者を養成する。